



ブレーキライン

取付け及び取り扱いマニュアル

部品番号	MNC540
登録番号	
車名 車種	マツダ ロードスター
型式(グレード)	CBA-NCEC (2000cc NA)
備考	全車対応
取付け上の注意	※取付け方法、レイアウトはノーマルと一部異なります。 当マニュアル内にある取り付け説明書に従って、正しく装着して下さい。

～お客様へ～

- ※ 当製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。
- ※ 取付け作業をはじめる前に必ず当マニュアルを最後までお読みください。
- ※ 当マニュアルは製品装着後も大切に保管して下さい。又、当製品を譲渡する際には製品と共に製品認定書・マニュアルも一緒に譲渡して下さい。
- ※ 当製品はノーマルの車両を基準にデータ取りされております。極端に太いタイヤ、ホイールを装着した車両や、車高及びサスペンションを変更した車両に取り付けますとトラブルの原因となる可能性がありますのでご注意下さい。

オートエクゼブレーキラインは、各車種(型式別)に専用に設計されていますので適合外の車種(型式)には使用できません。十分に注意して下さい。

- △ オートエクゼブレーキラインは重要保安部品です。
- 警告 オートエクゼブレーキラインの組み付けは、認証工場等の資格のある専門店で行って下さい。
- 警告 組み付け不良、エア抜き不良によるクレーム及び故障・事故による損害について、当社は一切の責任を負いません。

取り付ける前に
△ オートエクゼブレーキラインは、各車種(型式別)専用に設定されており、取り付ける前に、ブレーキラインの基準車種が適合しているか必ず確認して下さい。

△ オートエクゼブレーキラインは、各車種(型式別)専用に設定されており、適応車種以外への取り付けや改造、加工は絶対に行わないで下さい。

△ オートエクゼブレーキラインは、ノーマルの車両を基準にデータ取りされております。

△ 警告 極端に太いタイヤ・ホイールを装着した車両、車高及びサスペンションを変更した車両に取り付けますとトラブルの原因となります。必ず事前に確認し、十分にご注意下さい。

安全に作業を行うために
△ 銅ワッシャー、Eリング(一部車種付属)は必ず付属の物を使用し、再使用はしないで下さい。一部車種については純正のウェイブクリップ(ロックプレート)を付属の物と交換して使用して下さい。

△ パンジョウボルト(ユニオンボルト)・ウェイブクリップ(ロックプレート)を再使用する場合、組み付ける前に必ず清掃、洗浄を行い、外傷等の異常がある場合には新品と交換して下さい。

△ 注意 品質管理には万全を期しておりますが、念のため製品の確認・洗浄を行って下さい。

△ 警告 フレアナット先端部分(図1)の様に変形し、フィッティングに締め付けられない場合は、必ず図2の様に正常な形状に修正して締め付けて下さい。無理に締め付けるとフレアナット・フィッティング共にネジ部分を破損する場合があります。

変形 正常

図1 図2

△ 警告 オートエクゼブレーキラインを取り付ける際に、フィッティングのソケット部分を締め付けたり、緩めたりしないで下さい。フルード漏れの原因となります。

ソケット

取り付け後、各部品が正しく取り付けられているか確認してください。また、ステアリング左側に切った際、ブレーキラインがボディー、サスペンション、ドライブシャフト等と接触していないか、無理なねじれが無いか確認して下さい。

△ 警告 エア抜き作業の手順は各メーカー、車種によって異なります。「自動車メーカー発刊の整備書」に従って正しく行って下さい。特にブレーキアシスト、ABS、ALB付きの車両は、専用の設備が必要な車種がありますので御注意下さい。

△ 注意 抜き取ったブレーキフルードは再使用しないで下さい。

△ 注意 ブレーキフルードはボディー等の塗装面に付着させない事、万一付着した場合は素早く拭き取り、水洗いで下さい。

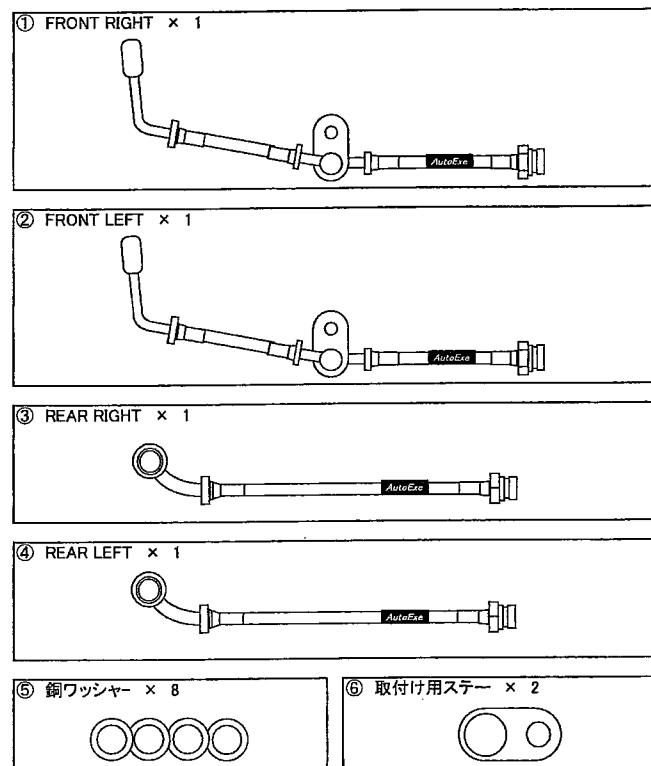
△ 注意 エア抜き作業終了後ブレーキパワーティーラー等を使用し、ローター・キャリパー及びブレーキライン周りに付着したフルードを洗浄して下さい。

△ 注意 エア抜き作業を行い、タイヤを取り付けた後再度ステアリングを左右に切りブレーキラインがタイヤ・ホイールに接触していない事を確認して下さい。

△ 注意 ノーマルホースと比較して踏みしきが浅くなりますので、車両によってはストップランプスイッチの点灯タイミング調整が必要な場合があります。ブレーキペダルを踏んで、正常に点灯するか、確認して下さい。

MNC540

【オートエクゼブレーキライン構成部品】破損・欠品等が無いか確認して下さい。

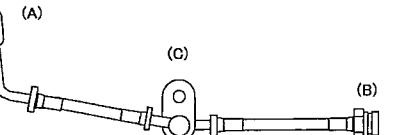


フロントブレーキホースの取り付けについて

※取付けの際、周辺機器に干渉しないよう、注意してください。

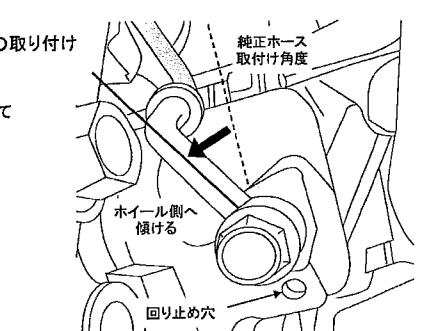
【1】中間止めの固定

- ・右図のブレーキライン中間止め(C)をアップバーームに固定します。その際は純正ボルトを使用して下さい。



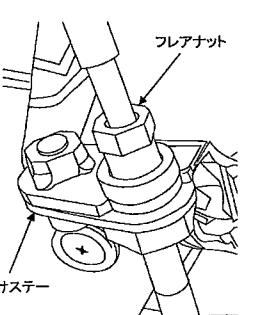
【2】パンジョーハーネス(キャリパー側)の取り付け

- ・(A)のパンジョーハーネスを付属の銅ワッシャーと純正パンジョーボルトを使用して取り付けます。
- ・純正の取り付け角度とは異なりパンジョーハーネスをホイール側に傾けて仮締めし、1.8~2.3kgf·mのトルクにて締め付けます。



【3】メスアダプター(ボディ側)の取り付け

- ・(B)のメスアダプターに付属のステーを通して、車体側ブレーキホースホルダーにセットします。その後、ホースのねじりに注意して下さい。
- ・フレアナットを仮締めします。
- ・純正ボルトを使用して車体側ホルダーに固定します。
- ・仮締めしたフレアナットを、1.8~2.3kgf·mのトルクで締め付けます。



注) 規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにじみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールする様に、フレアナットの増し締め又は、フレアパイプの修正、交換を行ってください。

リアブレーキホースの取り付けについて

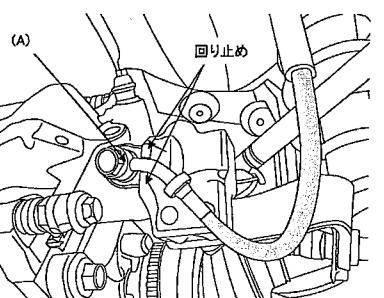
※取付けの際、周辺機器に干渉しないよう、注意してください。

※取り回しは純正ホースと同様になります。

【1】パンジョーハーネス(キャリパー側)の取り付け

- ・(A)のパンジョーハーネスを付属の銅ワッシャーと純正パンジョーボルトを使用して取り付けます。

・純正ホースと同様にキャリパーの回り止めを通して仮締めし、1.8~2.3kgf·mのトルクにて締め付けます。



【3】メスアダプター(ボディ側)の取り付け

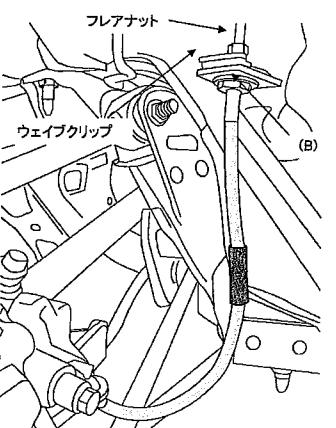
- ・(B)のメスアダプターを車体側ブレーキホースホルダーに確実にセットします。そして、フレアナットを仮締めします。

※ホルダーは5角形になっています。しっかりとセットされていないと、ウェイブクリップでの固定が出来ませんので注意して下さい。

- ・ウェイブクリップを使用して車体側ホルダーに固定します。

・仮締めしたフレアナットを1.8~2.3kgf·mのトルクで締め付けます。

※フレアナットの締め付けは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用して下さい。



注) 規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにじみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールする様に、フレアナットの増し締め又は、フレアパイプの修正、交換を行ってください。